

コロナウイルス 対策品

森松では様々な新型コロナウイルス対策品を製造・販売しております。
本社玄関ロビーに展示してありますので是非ご覧になってください。
また、気になる商品がございましたらお気軽にお声がけください。



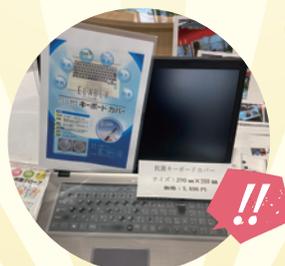
コロナウイルス対策品コーナー（玄関ロビー）



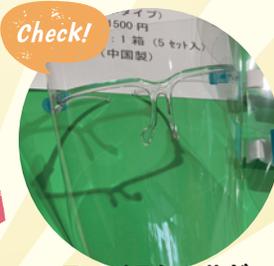
アキレスウィルセーフ



飛沫感染防止フィルム



抗菌キーボードカバー



フェイスシールド
メガネタイプ



防護ガウン

新しい日常

森 直樹（代表取締役社長）



森松展、今年も開催いたします。来場は完全予約制、そして場内にて見学可能な人数も絞り、出展企業様も場内での説明は省略。また来場頂かなくてもWEBでの情報提供により擬似的に見学可能とします。人の移動、行き来が制限される現状ではそれに合わせた取り組みが求められます。今回の森松展もそのひとつとなります。今回の森松展を通じて、森松自身も「新しい日常」をより明確に認識し実行していくこととなります。来年はまた異なる形での開催、またより多くの来場者で賑わうような展示会が開催できることを切に願いますが、あらゆる場面でこのような「新しい日常」に倣った変化を求められています。そのような変化の中では、これまで積み上げてきたものを一度解体し、また再度構築し直すことになることも多々あります。我々にとって今大切なのは変化に対応していくこと、またそしてこれまでのやり方を変えることを恐れないことです。梅雨が明け、本格的な夏を迎えてからはマスクを着用しての活動は呼吸に負荷がかかり、また蒸れにより不快な部分もあります。単純な作業をするにしても速度を落とさざるを得ないかもしれません。そのため自動化であったり、効率を上げるための別な方法を検討する良いきっかけになるかもしれません。「新しい日常」が文字通り「日常」となるときには我々にとっては進歩できていることとなるよう、変わっていきましょう。

麒麟が来る

牧野 光昌（企画営業部）



NHK大河ドラマ「麒麟が来る」で主役となった「明智光秀」の生涯は謎だらけです。主君の「信長」を殺害したヒーローなイメージだけが語り継がれてきた光秀が、今年の大河の主役に選ばれたのにはそれだけの理由があると思います。戦国時代の資料と言えど武将が残した書簡と江戸期になって書かれた作り話の多い物語くらいで、それがさも真実らしく伝えられています。そして近年、信長が宣教を許した宣教師たちが残した記述がスペインやバチカンのイエズス会の教会に残されていた事が発見され、新たな歴史の見直しが始まったそうです。宣教師が自国に報告するのに忖度は不要なので、ほぼ真実なのでしょう。イエズス会は、戦国の日本では先進的な考え方で、接見も布教活動も寛容だった信長を利用しました。信長の躍進が日本をキリシタン国家にする一番の早道だと思ったのでしょうか。その為に武器も弾薬も供給し、さらに布教で増大したキリシタン大名に信長の味方をするように説得したのです。高山右近が石山本願寺の合戦で信長に味方したのはそのせいです。そういう資料がイエズス会に残されていたのです。また、武田軍の騎馬隊と戦った長篠古戦場で発見された織田軍の銃弾は日本では産出されない海外の鉛で作られた物だと分析されました。イエズス会は信長を洗脳して日本統一後には最終的には中国まで征服させようと計画していました。武器を与えればどんどん強くなる日本の兵力を評価していたのか、不思議に思っていたのか…。武田軍と本願寺を破った信長は天下布武に近づいていましたが、徐々にイエズス会の方針に逆らうようになった為、イエズス会は次の覇者のセレクトを考えました。次の覇者「秀吉」、そして信長の暗殺者「光秀」。次の覇者「秀吉」は天下統一後に朝鮮出兵を行いました。これもイエズス会の陰謀でしょう。その後、日本の歴史には「明治維新」「第二次世界大戦」とおおきな出来事がありました。そのどちらにも海外の陰謀が強く関与していると思われれます。欧米の人たちの中には武器を与えられてどんどん強くなっていく日本の軍隊の進化に興味を持った人もいたのでしょうか。笑えない話です。これは学校の授業では教えられない話でもあります。

物持ちがいい？

加藤 雅昭（企画営業部）



私が今使っている腕時計は成人式に両親から買ってもらったもの。セイコーのダイバーズウォッチ、そんなに高いものではないが今でもしっかり動いてくれている。他にいろいろと時計を買ったが、やはりこの時計をしている。学生時代、卒業してからのスイミング時代、県庁時代、そして今と一緒に時を過ごしてきた腕時計。いろんな海で潜って、旅にも行きました。とっても大事な奴です。きっとこれからもずっと時を刻んでくれるだろうな。他にもまだまだ長く使っているものがたくさんある。実家には幼稚園の時に買ってもらったエレクトーン、真空管増幅でスイッチを入れると、ペダルの中からボワッと柔らかい光を出します。音もICの機械っぽい音ではなく、ウオーミーな優しい音色で鳴ってくれます。近頃はずっと電源を入れていないが、もう少し時間ができたらまた弾いてあげよう。指が動くかなあ。小学校に上がる時に買ってもらった屈折レンズ100mmの天体望遠鏡、これも引っ越し荷物に入れてから何十年開けてないかな。顕微鏡もあるな。オーディオ機器も、スピーカーは40年前のイギリス製のロジャース、これは今でも現役でしっかり綺麗な音色を聴かせます。カセットデッキ、レコードプレーヤーも40年選手、近頃はあまり使用していませんが、カセットデッキは数年前に消耗品の交換をして元気いっぱいなナカミチZX-7。レコードプレーヤーのターンテーブルはデンオンDP-70。こいつはまだまだ動きますが、トーンアームのダンパーがきかない、交換したいが今は時間もお金もない。もう少し時間ができたら交換調整してやろう。この調整も楽しいんですよ。バイクも1988年製、ということは32年選手。この子はまだまだ現役でしっかり走ってくれています。いままで北海道から四国・九州まで走ってくれていて、きっとこれからもまだまだ走ってくれるでしょう。あ、革ジャンもだ、アビレックスのB3、こいつも30年以上使ってるなあ。とまだまだいろいろ古いものはありますが…。って、物持ちがいいのではなく私が物を捨てられないだけ?? でもいいものはいつまでたっても色あせずに使えますよね。愛着がわいてくると特にね。私自身も色あせないように頑張らねば。

南極観測船ふじ

西垣 浩司(製造部)



先日、息子のバイト先が近いこともあり、二人で出かけてみました。名古屋港ガーデンふ頭でひととき存在感を放つ船といえば、オレンジ色の南極観測船ふじです。ふじは1965年(昭和40年)から18年間活躍した2代目の南極観測船で、本格的な砕氷艦としては日本で最初の船です。現在では、ガーデンふ頭に船まるごとが展示されていて、公開されている船内には、操縦室や医務室、乗組員たちのプライベートな空間であった居室など、当時の姿がそのまま残されています。入口で乗船券を受け取って入場すると、まずは当時食堂だった場所で導入映像「ふじが果たした役割」がご覧でき、その後、第二電信室やレーダー室、士官寝室、医務室、理髪室、庶務室、前任海曹寝室、第二居住区、観測隊員寝室等を見学することができ、当時の船内にタイムスリップしたような感覚になり、南極への旅を擬似体験することができます。「臨場感たっぷりに再現するために随所に置かれたマネキン人形に思わずびっくりすることもあるのでご注意ください!。おすすめ POINT としては、①マネキン人形により再現された各部屋の様子②通路に飾られた記念の楯③消火設備や救命用具④ガラス越しに見学出来るエンジンの一部⑤CG 映像



像による砕氷の仕組み⑥迫力満載の極感ドラマチックシアターです。南極の美しさ、これまでの南極観測の歴史や成果などを知ることができます。南極大陸を目指して、氷海を進んだ乗組員たちのロマンをぜひ、南極観測船ふじで感じてみてはいかがでしょうか。

無観客でも

間部 将大(森松産業)



新型コロナウイルスの影響を受け、6月19日に約3か月遅れでセ・パ両リーグのプロ野球公式戦が開幕しました。史上初の無観客での開幕です。さんざん待たされた開幕ですので、たとえ無観客だとしても嬉しいものです。無観客試合ですとテレビなど放送を通してしか観戦することができませんが、静寂に包まれた中、ピッチャーの投球がキャッチャーミットに収まった時の小気味いい音やバッターがホームランを打った瞬間のインパクト音、さらにベンチから出す選手たちの声など、今まで歓声や応援団の鳴り物などでかき消されていた音や声鮮明に聞こえてきます。これはこれでスタジアムの生の音という新たな楽しみ方が出来たような気がしました。そして7月10日からついに5000人を上限に観客を入れての試合が開催されました。有観客開催へのステップが1歩進み、まだまだ大きな応援やメガホンを使っただけの応援、アルコールの販売禁止等ルールに制限はありますが、待ちわびたファンの方々も嬉しい限りだと思います。また、NPB(日本野球機構)は8月1日をめどにスタジアム収容人数の50%まで上限を引き上げることを目指していましたが、ここへきて新型コロナウイルスの感染者数が再び増加し始め、政府が大規模イベントの人数制限緩和を1か月延期したことで、上限5000人を8月末まで維持することを決めました。残念ですが、現状を踏まえると仕方がないでしょう。1年後に延期となったオリンピックに関しても、開催中止や再延期、そして無観客開催が議論されておりますが、決して望まれている形ではありません。なんだかんだ新しい観戦様式に慣れつつあるこの頃ですが、やはりスポーツの生観戦の雰囲気、臨場感は格別なものです。またみんなの笑顔がスタンドを埋めつくす日が戻って来ることを願っています。

第28回 元気が出る森松展

2020年

9月

完全予約制

森松で過ごす充実の3日間!

10・11・12

木

金

土

9:00-17:00

9:00-17:00

9:00-12:00



森松のキャラクター
マモリーゾ

PASSION

今年も熱意と感動をお届けします。

本年度の森松展は新型コロナウイルスの影響を鑑み、3密を避けるため誠に勝手ながら完全予約制とさせていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

父になった日

加藤 俊輔 (裁断部)

私事ではありますが、5月7日に初となる子供が生まれました。お腹の中の居心地が悪かったのか、予定より約1か月ほど早く出てきてしまい、2250gとかなり小さかったですが元気な女の子でした。とりあえず五体満足で母子ともに健康で安心いたしました。この新型コロナウイルスの影響で出産の立会いや、産後1週間の入院中の面会をできず、着替えを持っていっても、受付で看護師に渡し届けてくれるだけで直接会うことは一切出来ず、病院の徹底ぶりに感心もしましたが、とても残念でした。1週間後に子供に初めて会えた時はうれしく、小さめのスイカみたいで可愛くて、今後の成長が楽しみです。名前は「月花」と書いて(ルカ)と命名しました。5月7日はたまたま満月で、5月の満月を「フラワームーン」というと、ニュースでやっていたのでそれを漢字に直し、満月のことをラテン語で「ルナ」というそうなので、月を(ル)と呼んで名付けました。はじめは今流行りのキラキラネームや、漢字を見ただけで読めないのはやめようと思っていましたが、結局キラキラネームっぽくなってしまいました。でも由来がしっかりあるのと名字が加藤で画数が多いので名前は簡単な漢字でなおかつ一年生で習う漢字なのですぐに漢字でフルネーム書けるようになると二人とも意見があったので決めました。今は子育てに奮闘の毎日です、泣いてる理由を分からずイライラするときもありますが、ミルクを飲んでる時、手をグーっと握って少しずつ少しずつ頑張っているのを見ると、この子のために明日も頑張ろうという気持ちになります。

